

私たちの 友の会ルーム

高石ブロッック

心のオアシスになりたい

友の会ルームの独り言

こんにちはー私は高石ブロッックの友の会ルームです。耳原高石診療所2階の倉庫(?)だったこの部屋を、診療所の職員さんが友の会ルームとして、生まれ変わらせてくれたのが4年前。それと同時に、この部屋の主となる人物が着任しました。「ここで、サークルとかやりたいね。医療懇談会なんかもええね」などと、開設当時は会員さんもいろいろ考えて下さっていました。10人入ると身動きも取れないような狭さゆ

え、今は定例のブロッック会議と毎月の「とも」の発送作業で使われているだけ。なんとも寂しい限りです(しかしそのおかげで、妹分の友の家『きらい』が誕生した訳ですが…)。



懇談会のようす



毎月の「とも」発送作業

とはいえ、毎日誰かが来られるのが高石の友の会ルーム！診療所の2階なので、診察待ちの世話人さんが「ちょっと時間つぶしに来たよ」とか、「今日は居てるか？用事はないけど覗きに来たで！」と来られます。難点は1階の出入り口が暗証番号式で、誰も気軽に来れないこと。でも「友の会ルームに行きたい！」と連絡しただければ、すぐにルームの主が階下までお迎えにありがとうございます。

私はこれからも、会員の皆さんの心のオアシスとなるように、頑張りたいと思います。そして、耳原高石診療所の職員の方々にあつての私です。これからもお話しになりますが、よろしくお願ひします。

お楽しみクイズ クロスワードパズル

- 応募方法／郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入の上、あて先／〒5900-0824 堺市堺区老松町2丁58-1 友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてにて郵送ください。
- しめきり／2015年7月8日(水)消印有効
- 当選発表／厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード5000円分)を、賞品の発送をもって発表に替えてさせていただきます。
- クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。

タテのキー

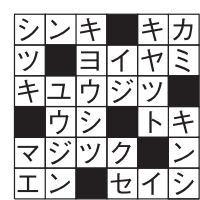
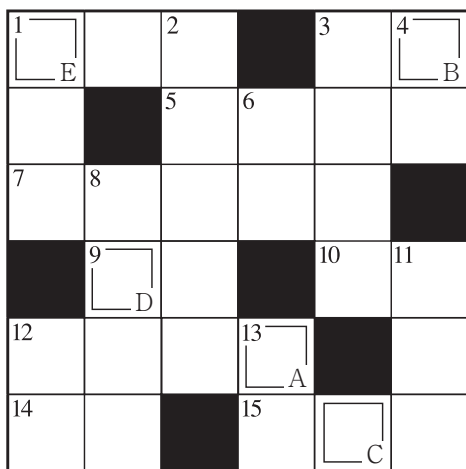
- ①工事の費用
- ②酔ってーをさらす
- ③バスで団体旅行
- ④旧国名。今の愛媛県

ヨコのキー

- ①手こーをつける
- ②牛と鬼の間のエト
- ③三顧の〇〇をつくす

- ⑥〇〇の上にも三年
- ⑧自動車などの後ろの車輪
- ⑤ー正しい骨董品
- ⑦公式でないこと
- ⑨〇〇心がわからないまま歌う
- ⑩利息と同義
- ⑫農作物などの収穫
- ⑭心仁の〇〇
- ⑮死者のあとに残された家族

カギを解き、二重ワクに入る文字をABC順に並べてできる言葉は何？



●4月号の答「シンセイカツ(新生活)」
●応募数/135通



川柳

原発の 判定ゆらぐ 裁判所

安東 利彦(西区上野芝町)

俳句

初夏の夕 畳むタオルの 好き薄さ

吉崎みどり(和泉市上町)

短歌

あの日から 七十年も過ぎたれど
いくさに散りし 君は還らじ

安東 操(西区上野芝町)

*お寄せいただいた句を詠む時の情景や思いもお寄せください。
*俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2015年7月8日(水)です。
*特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

会員さん紹介 ③

美木多支部

岡本 武さん



した。友の会活動以外にも、地域の福祉委員や、美木多の自然と農業を守りまじつくりを考える会など、多くの活動に取り組みられています。

自然を守る会では、地域の農家の方と協力し、畑の貸し出しや、みかん栽培などをを行い、地域の農家の方を支援する取り組みも行われています。

今年の2月には大浜支部の新春のつどいに、美木多でとれた野菜の即売会を開いていただきました。安さと新鮮さに多くの参加者が驚いていました。

「美木多には高齢者も多く、買い物難民が増えてきている、その方の支援になれば」と、車を使っての野菜販売などもこれから取り組んでいくと語られました。



岡本さんは昭和27年、堺市美木多で生まれ育ち、小さい頃から実家の牛乳屋さんで農家を手伝っていたそうです。現在は牛乳屋さんを引継ぎ、朝3時頃から約200軒のお宅に牛乳を配達されています。

岡本さんは美木多支部発足時から、支部の世話人さんとして、地域のまちづくりと健康づくりに関わってこられました。支部での日曜健診では毎年多くの参加者を集めるなど、地域の健康づくりに貢献されてきました。

編集後記

4月号よりスタートした「会員さん紹介」今月号は美木多支部の岡本さんです。岡本さんが経営している牛乳屋さんで取材してきました。

美木多はとても緑が多く、私の故郷である新潟にきているような感覚になります。

ました。地域のために活動されている方、地域で困っている人のために活動をされている方は、とても元気な人が多いと、取材や日々の業務を通して感じます。

「とも」は多くの地域で会員さんによって手配り配達していただいております。いつもありがとうございます。(上村)